

事務事業名		図書館総務管理事業		所属部	教育委員会	所属課	社会教育課	
総合計画体系	政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち<教育・文化>		所属G	社会教育G	課長名	奥井雅司	
	施策名	(27)生涯学習の推進		担当者名	三島祐一	電話番号	0854-40-1073 (内線) 2242	
	目的:対象	市民	意図	生涯を通じて自ら学び、人生を豊かにする。				
	基本事業名	(081)学習環境の充実		予算科目	会計	款	大事業	大事業名
目的:対象	市民	意図	充実した施設・設備を利用する。				中事業	中事業名
					015002		図書館総務管理事業	
					252501		図書館総務管理事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
・市立図書館、図書室運営業務委託 図書館業務委託については、(株)キラキラ雲南へ業務委託している。3年間の業務委託契約期間の2年目。 ・雲南市図書館協議会(雲南市図書館体制のあり方及び業務内容について審議を行う教育委員会の諮問機関)の開催 ・図書館システム管理運用 ・図書館システムの更新(R元年度のみ) ・「第2次雲南市子ども読書活動推進計画」の策定

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R元年度実績(R元年度に行った主な活動) ・業務委託先と図書館運営についての協議 ・雲南市図書館協議会の開催及び報酬等支出事務 ・備品購入に係る協議、支出事務 ・図書システム管理運用 ・「第2次雲南市子ども読書活動推進計画」の策定 ・図書館独自の普及・啓発活動(こぐまちゃんくらぶ、司書体験、よみかたりのじかん等)	R2年度計画(R2年度に計画する主な活動) ・業務委託先と図書館運営についての協議 ・雲南市図書館協議会の開催及び報酬等支出事務 ・備品購入に係る協議、支出事務 ・図書システム管理運用 ・図書館独自の普及・啓発活動(こぐまちゃんくらぶ、司書体験、よみかたりのじかん等)				
	② 活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
ア	支出件数	件	140	140	156	156
イ	協議会の開催回数	回	1	1	1	1
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)	
	・市民	ア	市民(国勢調査推計)	人	37,794	37,012	36,248	37,004
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)		
・住民に親しまれる図書館運営を目指すとともに、生涯学習情報の提供を行う。 ・住民の多種多様な自主的学習の要求に応え、教養を高める。	ア	来館者数(3館)	人	62,555	81,092	81,895	81,895	
	イ	レファレンス件数(3館)	件	3,539	3,608	3,408	3,408	
	ウ	資料返却サービスによる資料配 送数	冊	11,922	15,576	14,940	14,940	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
報酬:27千円、報償費:75千円、旅費:7千円、需用費:289千円、役務費:10千円、委託料:27,544千円、使用料及び賃借料:3,849千円、備品購入費:1,225千円	財源内訳	千円				
※このほか、書籍24冊の寄附あり	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円	1,514	904	798	830
	一般財源	千円	30,963	32,951	32,228	31,230
	事業費計(A)	千円	32,477	33,855	33,026	32,060
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	350	350	350	
	人件費計(B)	千円	1,427	1,516	1,484	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	33,904	35,371	34,510	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・地域を支える情報拠点を目指し、地域や住民にとってより役に立つ図書館としての存在意義を確立していくため、また開かれた図書館づくりや柔軟な運営をするために、H23年度より株式会社キラキラ雲南に業務委託を開始した。 ・令和元年度末はコロナウイルスの影響もあり、来館者数が減少。	・大東: H29年度からH30年度にかけて施設の改修を行ない、H30年6月リニューアル。 ・掛合: 掛合総合Cと掛合交流Cの複合化に併せ、H30年4月リニューアル。 ・永井隆記念館図書室: 記念館の施設整備事業に併せて整備中。	・永井隆記念館図書室、吉田農村環境改善センター図書室、掛合図書センターにも司書の配置やシステムの配備等の整備を行ってほしいという意見がある。

事務事業名	図書館総務管理事業	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	・学校教育との連携・協力や各種団体や公共施設、図書館・図書空間の更なる連携により相乗効果を発揮することも可能である。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	図書館施設に関しては、他に類似する施設がないため事業の統廃合は難しい。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？正職員以外や外部委託ができないか？		
B 有効性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	H23年度より業務委託をしており、必要な人員についても精査しているため、これ以上の人件費の削減余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正か？		理由
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
<p>・大東、加茂、木次の市立図書館3館については、H23年度より株式会社キラキラ雲南への業務委託に移行した。図書館以外の返却場所を設置する等サービスの向上や、図書館相互での図書のやり取りなど、3館の連携が進められてきた。また、よみかたりなど委託先が行う他の事業と連携した活動もある。</p> <p>・吉田図書室および掛合図書センターについても、地域自主組織によって適切な施設運営がなされている。</p>			

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
<p>・株キラキラ雲南への業務委託により、専門性の高い職員による安定的で柔軟なサービスの提供が可能となっている。また、3年間の業務委託とすることで、長期的な視点を持った図書館運営が期待される。</p> <p>・雲南市の図書館行政と民間業者による管理運営ノウハウを相乗的に発揮することによって、ソフト・ハード両面における図書館の充実を図る。</p>																								